

2016年度 第2四半期 決算説明会資料

カゴメ株式会社(2811)

<http://www.kagome.co.jp/company/ir/index.html>

本日のご説明内容

I. 2016年度第2四半期決算

II. 下期重点課題

III. 2016年度通期業績予想

IV. 長期ビジョンと中期経営計画進捗状況

2016年度 第2四半期 連結業績



◆連結業績

連結業績		対前年		対期初予想
売上高	983億円	+43億円	+5%	+13億円
営業利益	55億円	+24億円	+77%	+29億円
経常利益	56億円	+22億円	+63%	+27億円
当期純利益	32億円	+12億円	+59%	+12億円

2016年度 第2四半期 連結業績

◆連結売上・利益

単位:億円

	15年度	16年度	増減			売上高利益率	
			増減額	増減率	対公表	15年度	16年度
売上高	940	983	+43	+5%	+13		
国内事業	797	833	+36	+4%	—		
国際事業	223	236	+13	+6%	—		
セグメント間取引	▲80	▲86	▲5	—	—		
営業利益	31	55	+24	+77%	+29	3.3%	5.6%
国内事業	27	45	+18	+67%	—		
国際事業	4	10	+6	+145%	—		
経常利益	35	56	+22	+63%		3.7%	5.7%
当期純利益	20	32	+12	+59%		2.1%	3.3%

- ・国内事業:野菜飲料好調、収益構造改革による増益
- ・国際事業:PBI社連結による純増

2016年度 第2四半期 連結業績



◆国内事業売上・営業利益

単位:億円

単位:億円

	売上高				営業利益			
	15年度	16年度	増減額	増減率	15年度	16年度	増減額	増減率
国内事業	797	833	+ 36	+ 4%	27	45	+ 18	+ 67%
飲料	356	382	+ 25	+ 7%	12	17	+ 5	+ 42%
食品	113	113	+ 0	+ 0%	5	9	+ 4	+ 80%
ギフト	32	31	▲1	▲2%	1	3	+ 2	+ 141%
農	60	63	+ 3	+ 5%	10	10	▲0	▲1%
通販	38	40	+ 2	+ 4%	▲1	1	+ 2	-
業務用	122	124	+ 2	+ 2%	▲3	1	+ 4	-
その他	76	80	+ 4	+ 6%	3	4	+ 1	+ 32%

- ・飲料:増収増益、機能性表示トマトジュース、野菜生活シリーズ新商品好調。
- ・食品:増収増益、価格改定を行ったトマトケチャップ好調、トマトソース好調。
- ・ギフト:減収増益、商品の絞り込みによる減収、増益。
- ・農:増収減益、生鮮トマトが好調に推移、5-6月市況不利も利益は前年並み確保。
- ・通販:増収増益、通販限定の野菜飲料、サプリメントなどが好調。
- ・業務用:増収増益、トマトソース好調、商品回収による特損7.5億円。

2016年度 第2四半期 連結業績



◆飲料事業

野菜飲料に対する多様化したニーズを先取り

機能性

フレッシュ

気分転換・小腹満たし



血中コレステロールが
気になる方に **機能性表示食品**
食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。



低温あらかし生鮮飲料
〈香料・着色料・保存料 無添加〉



2016年度 第2四半期 連結業績



◆国内事業売上・営業利益

単位:億円

単位:億円

再掲	売上高				営業利益			
	15年度	16年度			15年度	16年度		
			増減額	増減率			増減額	増減率
国内事業	797	833	+36	+4%	27	45	+18	+67%
飲料	356	382	+25	+7%	12	17	+5	+42%
食品	113	113	+0	+0%	5	9	+4	+80%
ギフト	32	31	▲1	▲2%	1	3	+2	+141%
農	60	63	+3	+5%	10	10	▲0	▲1%
通販	38	40	+2	+4%	▲1	1	+2	-
業務用	122	124	+2	+2%	▲3	1	+4	-
その他	76	80	+4	+6%	3	4	+1	+32%

- ・飲料:増収増益、機能性表示トマトジュース、野菜生活シリーズ新商品好調。
- ・食品:増収増益、価格改定を行ったトマトケチャップ好調、トマトソース好調。
- ・ギフト:減収増益、商品の絞り込みによる減収、増益。
- ・農:増収減益、生鮮トマトが好調に推移、5-6月市況不利も利益は前年並み確保。
- ・通販:増収増益、通販限定の野菜飲料、サプリメントなどが好調。
- ・業務用:増収増益、トマトソース好調、商品回収による特損7.5億円。

2016年度 第2四半期 連結業績



単位:億円

◆国際事業売上

国	国際事業	売上高				為替影響			
		15年度	16年度	増減額	増減率	16年度(15年度の為替レートで換算)			
						実質増減	実質成長率	為替影響	
		223	236	+13	+6%	257	+34	15%	▲21
	グローバルトマト事業	217	205	▲12	▲6%	224	+6	3%	▲19
	国際業務用	194	186	▲8	▲4%	203	+9	5%	▲17
	種子・育苗	23	19	▲4	▲18%	21	▲3	-12%	▲1
	コンシューマー事業	5	31	+26	+470%	33	+28	513%	▲2

単位:億円

◆国際事業営業利益

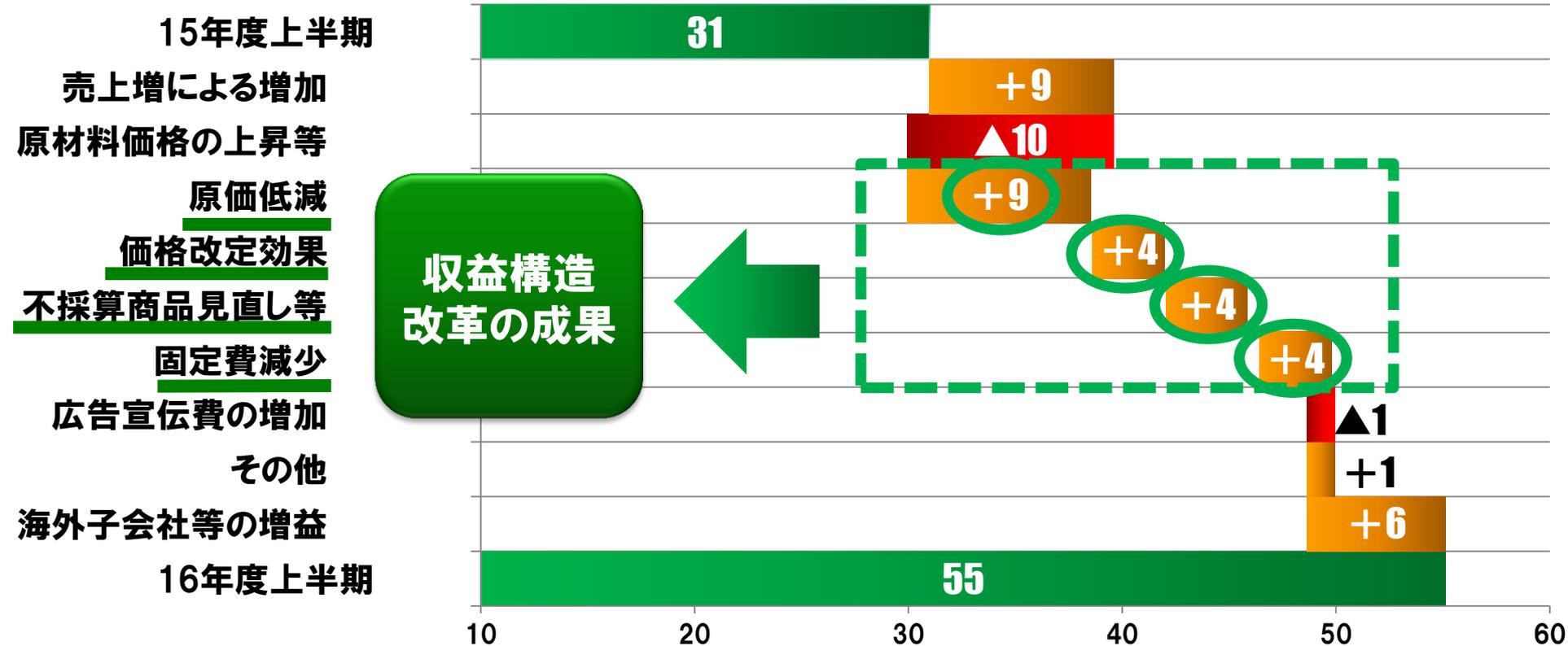
国	国際事業	営業利益				為替影響			
		15年度	16年度	増減額	増減率	16年度(15年度の為替レートで換算)			
						実質増減	実質成長率	為替影響	
		4	10	+6	+145%	11	+7	166%	▲1
	グローバルトマト事業	6	9	+3	+49%	10	+4	60%	▲1
	国際業務用	4	8	+4	+85%	8	+4	95%	▲0
	種子・育苗	2	1	▲1	▲26%	2	▲0	-11%	▲0
	コンシューマー事業	▲2	1	+3	▲132%	1	+3	-	▲0

- ・国際業務用:減収増益、大手フードサービス顧客向けの販売好調、為替影響により減収
- ・種子・育苗:減収減益、主要顧客での種子販売不振
- ・コンシューマー:増収増益、米国PBI社純増、アジアは事業構造見直しにより赤字縮小

2016年度 第2四半期 連結業績

◆連結営業利益増減要因

単位：億円



収益構造
改革の成果

<収益構造改革>

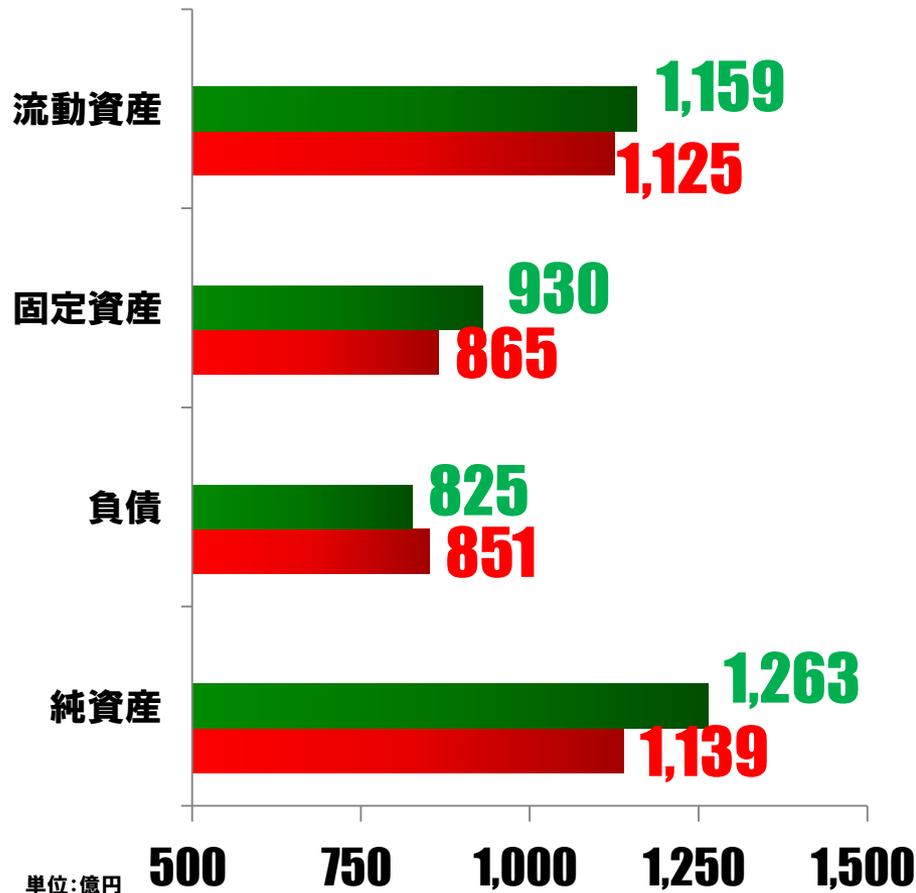
- ・トマトケチャップ、ソースの価格改定によるプラス
- ・不採算商品の見直しによるプラス
- ・原価低減9億円、固定費削減4億円

2016年度 第2四半期 連結貸借対照表変動



総資産/負債・純資産
1,990億(▲99億円)

単位:億円



■:2015年12月末 ■:2016年6月末

流動資産 ▲34 (▲45)

- ・キャッシュの増加 +105
- ・在庫の減少 ▲42
- ・デリバティブ債権の減少 ▲78

固定資産 ▲65 (▲49)

- ・固定投資による増加 +29
- ・減価償却による減少 ▲29
- ・投資有価証券の時価評価 ▲17

負債 +26 (▲25)

- ・有利子負債の増加 +80
- ・デリバティブ債権税効果 ▲25

純資産 ▲124

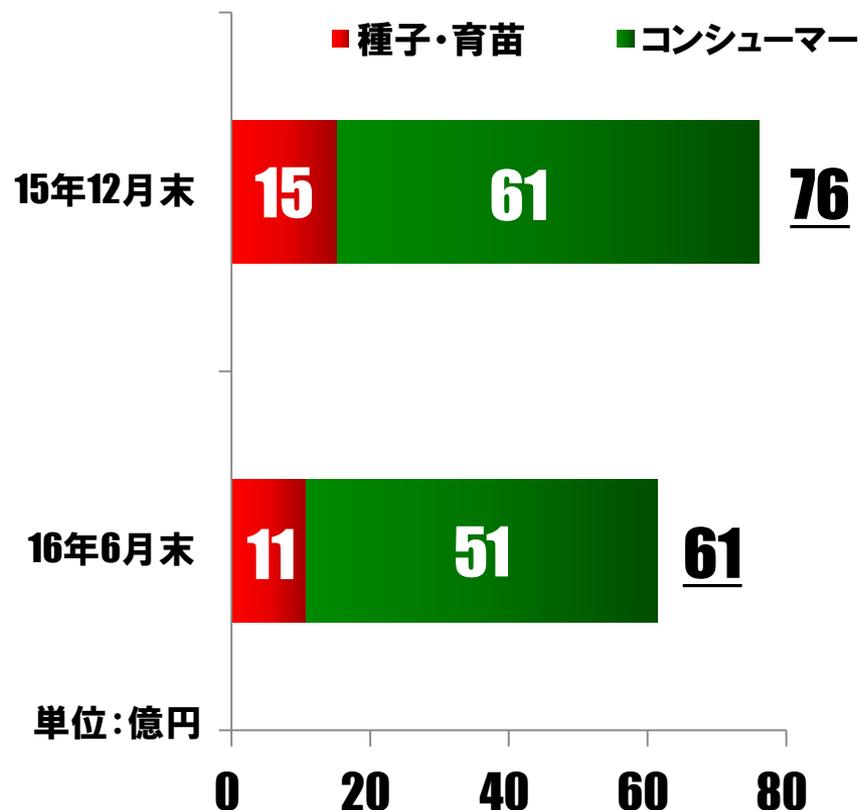
- ・純利益による増加 +32
- ・配当による減少 ▲22
- ・繰延ヘッジ損益の減少 ▲53
- ・為替換算調整勘定の減少 ▲41

※括弧内は在外子会社財務諸表の為替影響
(内訳は為替影響含まず)

2016年度 第2四半期 のれん変動



のれん 61億(▲15億円)



単位: 億円

種子・育苗 ▲5

- ・UG社 ▲4
- ・UG-トルコ社 ▲1

コンシューマー ▲10

- ・PBI社 ▲10

- ・のれん償却により4億円減少(種子・育苗:5年償却、PBI社:20年償却)
- ・円高に伴う為替換算影響により11億円減少

本日のご説明内容

I. 2016年度第2四半期決算

II. 下期重点課題

III. 2016年度通期業績予想

IV. 長期ビジョンと中期経営計画進捗状況

◆国内事業(飲料)

継続的に野菜飲料の新しい需要を創造する

トマトジュースプレミアム



野菜生活シリーズ新商品



機能性表示新商品



8月9日解禁
数量限定 カゴメトマトジュース PREMIUM

Vegetables & Fruits Smoothie
自然な甘さごちそうと飲みごたえのスムージー

砂糖・甘味料・増粘剤無添加。1/2日の野菜*を使用し、野菜・果実由来の食物繊維がしっかり摂れます。

おいしく、ココロ、ととのえる。
野菜生活100 Peel&Herb

シナモンとクローブの甘みと香りに、ぶどうの皮の洗みをきかせて、まろやかで甘すぎない野菜生活できました! ココロとカラダのリラクスタイムに。

新たな機能性表示商品

下期重点課題



◆農事業

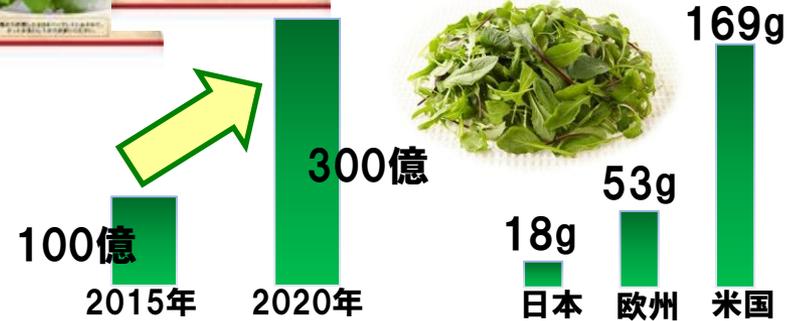
生鮮トマト



月別トマト調達量 (カゴメ実績)

需給対応力強化

ベビーリーフ



ベビーリーフ市場規模予想 ※カゴメ調べ

ベビーリーフ消費量 (年1人当たり) ※カゴメ調べ

市場拡大への対応

下期重点課題

◆農事業

各地方地自体との連携

山梨県と農業の振興と発展に関する連携協定の締結(3月)

長野県富士見町と地域振興に関する連携協定の締結(5月)



農業の成長産業化に貢献

下期重点課題

◆国際事業

グローバルフードサービス対応

米国カゴメインク社
テストキッチン設備拡充



メニュー提案力強化

世界的需要増への対応

ポルトガル
アグリビジネス研究開発センター設立



栽培技術・品種開発

本日のご説明内容

I. 2016年度第2四半期決算

II. 下期重点課題

III. 2016年度通期業績予想

IV. 長期ビジョンと中期経営計画進捗状況

2016年度通期業績予想

◆売上

単位：億円

		16年期初 予想	16年修正 予想	増減	増減率
売	上	2,000	2,000	+ 0	+ 0%
	高				
国	内	1,674	1,727	+ 53	+ 3%
	事				
	業				
	飲料	748	787	+ 39	+ 5%
	食品	225	229	+ 4	+ 2%
	ギフト	83	83	▲1	▲1%
	農	116	117	+ 2	+ 2%
	通販	88	90	+ 3	+ 3%
	業務用	264	261	▲3	▲1%
	その他	150	159	+ 9	+ 6%
国	際	522	465	▲57	▲11%
	事				
	業				
	グローバルトマト事業	454	403	▲51	▲11%
	国際業務用	414	369	▲45	▲11%
	種子・育苗	40	33	▲6	▲16%
	コンシューマー	68	62	▲6	▲9%
	セグメント間取引	▲196	▲192	+ 4	-

2016年度通期業績予想



単位:億円

◆利益

	16年期初 予想	16年修正 予想		
			増減	増減率
営業利益	70	92	+ 22	+ 32%
国内事業	59	79	+ 20	+ 35%
飲料	17	30	+ 12	+ 72%
食品	19	22	+ 3	+ 17%
ギフト	2	3	+ 1	+ 71%
農	8	8	▲0	▲5%
通販	7	8	+ 1	+ 13%
業務用	2	3	+ 2	+ 85%
その他	4	5	+ 2	+ 42%
国際事業	12	13	+ 2	+ 13%
グローバルトマト事業	12	12	▲0	▲0%
国際業務用	12	13	+ 1	+ 9%
種子・育苗	▲0	▲1	▲1	—
コンシューマー	▲0	2	+ 2	—
セグメント間取引	—	—	—	—

経常利益	75	94	+19	+ 25%
-------------	-----------	-----------	------------	--------------

当期純利益	45	49	+4	+ 9%
--------------	-----------	-----------	-----------	-------------

本日のご説明内容

I. 2016年度第2四半期決算

II. 下期重点課題

III. 2016年度通期業績予想

IV. 長期ビジョンと中期経営計画進捗状況

長期ビジョンと中期経営計画進捗状況

◆長期ビジョン

【10年後のカゴメ像】

「食を通じて社会問題の解決に取り組み、
持続的に成長できる強い企業になる」



トマトの会社



野菜の会社

長期ビジョンと中期経営計画進捗状況

◆長期ビジョン(10年)



長期ビジョンと中期経営計画進捗状況



◆長期ビジョン(20~25年)

すべての女性比率を50%以上に
(社員、管理職、役員)

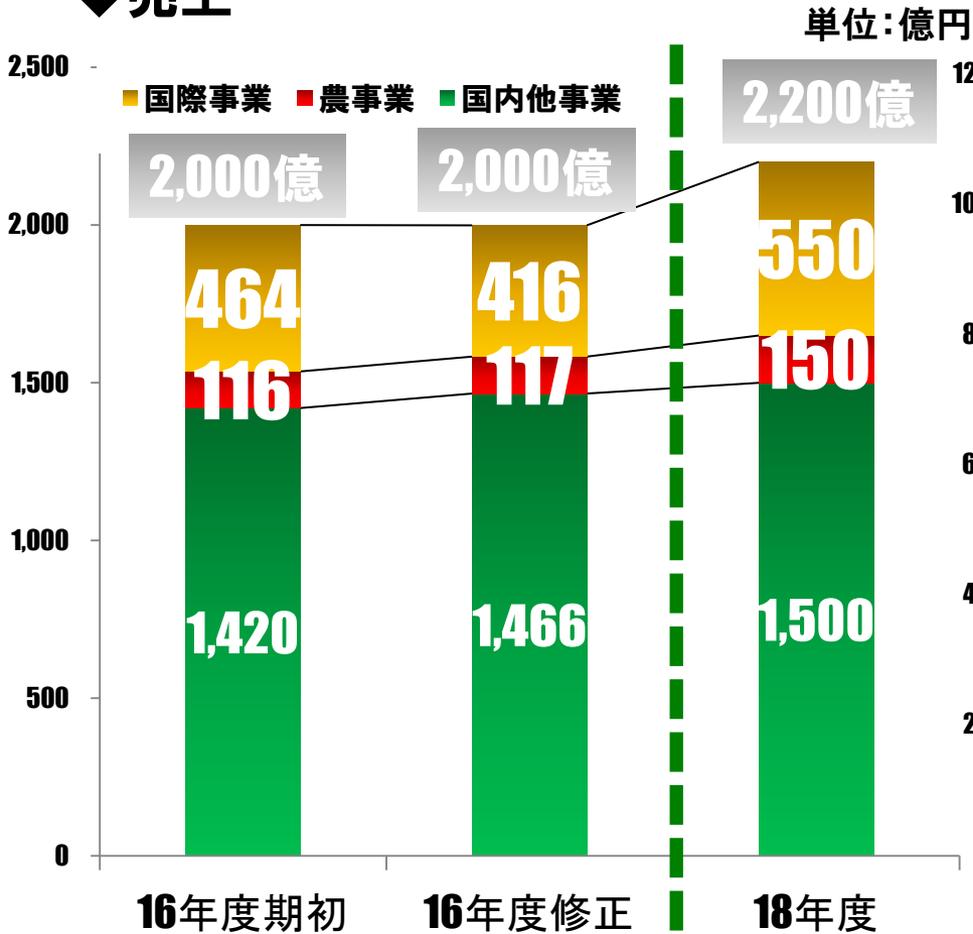


更なる持続的成長へ

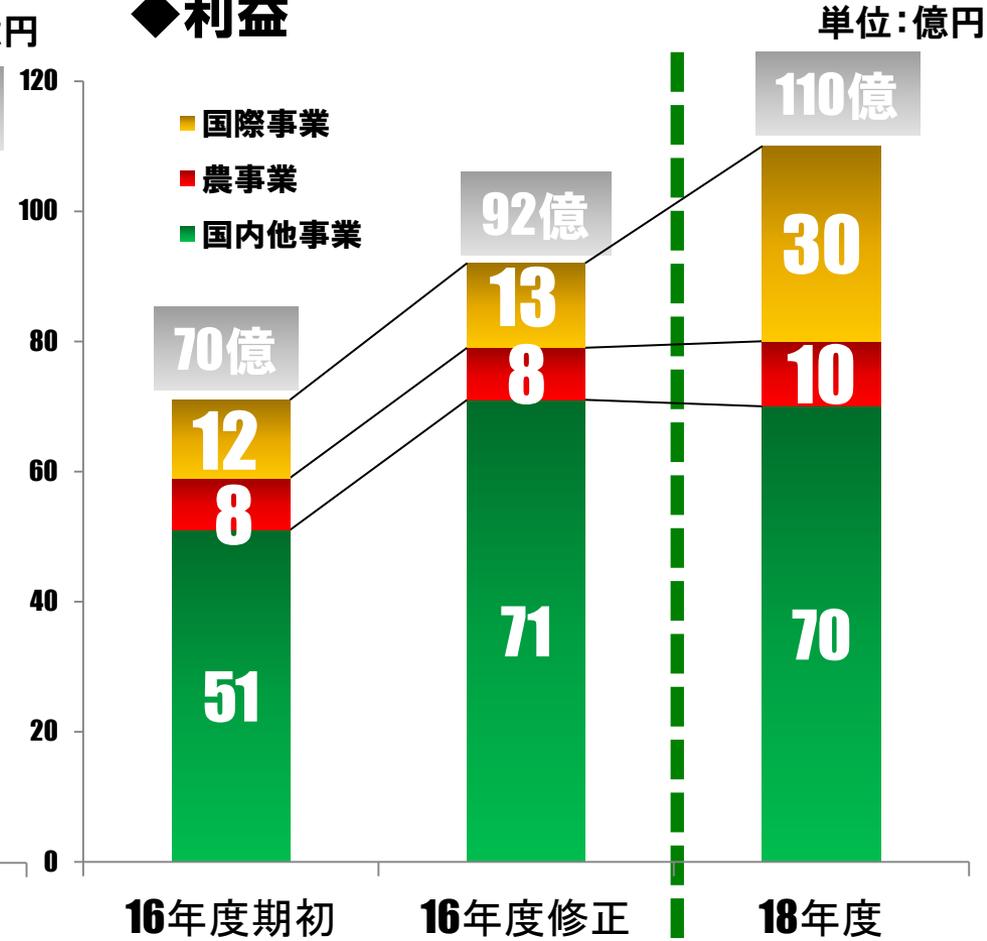
長期ビジョンと中期経営計画進捗状況



◆売上



◆利益



※各事業は「セグメント間の消去・及び調整」後数値

18年度中期経営計画達成に向けて順調に推移

注意事項

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見通しのみで全面的な依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、以下のようなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますので注意ください。